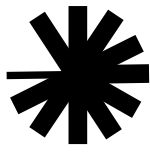


2019  
9月号



# 原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

今年の原水爆禁止世界大会決議

## 被爆75年・2020年にヒバクシャの願いを実現しよう!



▲5000人の参加者の前で大阪の青年が閉会総会で決意表明

非核の政府・自治体・ヒバクシャ・市民の共同の力で  
核なき世界を、核兵器禁止条約の発効を!

「核兵器のない平和で公正な世界を」テーマに、長崎をメイン会場に開催された原水爆禁止2019年世界大会は、8月7日〜9日の3日間行われました。

オーストラリア、メキシコ、ベネズエラの政府代表をはじめ22カ国から86人の海外代表と、日本各地から6500人(国際会議2000人、広島大会1300人、長崎大会5000人)の代表が参加しました。

核兵器禁止条約の発効が時間の問題となる中、トランプ

政権の使える核兵器の開発、INF(中距離核戦力)全廃条約の失効など、新たな核軍拡競争につながる動きを厳しく批判するとともに、被爆75年2020年を核兵器廃絶の歴史的転換とするためNPT再検討会議で、すべての政府にこれまでの合意の実行と核兵器禁止への参加を迫る世界的行動を呼びかけました。

今世界大会の特徴は、核兵器の非人道性を改めて告発しました。「国際会議宣言」では被爆者の実相と被爆者の声を世界に伝え、被爆者とともに立ち上がることを呼びかけました。



長崎の両市長は平和宣言で、日本政府に核兵器禁止条約への積極的な対応や参加を求めましたが、安倍首相は「核兵器禁止条約」には全く触れないどころか、「

国際社会にいつその分断をもたらしている」と攻撃するありさまで、核兵器の廃絶を求める世界の流れと逆行し、「核兵器抑止論」に固守し、思考停止状態です。また、新たな共同の広がり示す大会となりました。「安保法制の廃止と立憲主義回復を求める市民連合」や「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」の代表者が参加し、立憲民主党から連帯のメッセージが届いた大会となりました。大阪代表団は、長崎大会に273人(子どもを含む)、広島大会に23人、国際会議に4人が参加しました。感想文がたくさん寄せられています。被爆者の実相を心に刻み、核兵器のない平和で公正な世界

を」の気持ちを強くした感と  
の想がほとんどでした。  
「核兵器禁止条約」が2017年7月7日、122カ国の賛成で採択され、現在では26カ国が批准し、発効は来年の見通しです。「私たちが生きていく間に核兵器禁止条約の発効を」との被爆者の願いに応え、また核兵器廃絶を希求する世界の諸国と力を合わせ、「ヒバクシャ国際署名」を集めていきましょう。原水爆禁止世界大会インニューヨークに大阪から2015NPT行動(目標100人)に匹敵する規模の代表団を送り出していきましょう。  
【参加者の感想】  
◇初参加の原水爆禁止でした。3日間は長いと思いましたが、あつという間でした。開会式では、全国からたくさん参加者がおられ、稲嶺さんの沖縄での闘いを聞き、沖縄だけではなく全国の問題と言っておられたことが印象に残りました。一番衝撃を受けたことは、被爆者の証言です。原爆のすさまじさや目の前で次々と人が亡くなっていく様子、家族を失った悲しみを淡々と話された証言された方の中で、被爆者が一人もいなくなったらどうなっていくのか恐いと聞き、歴史として正しく継承していくこと、戦争はなんの解決にもならない、核兵器ゼロの運動を続けなければならないも強く感じた3日間でした。  
被爆者体験を語る人の平均年齢は82歳です。今回参加でき、学んだことをたくさんの人に伝え、核廃絶運動、憲法9条改悪反対の運動に取り組んで行きたいと思えます。  
(大教組)

◇今回初めての参加となりましたが、被ばく者の方、また被ばく2世の方の話の直に聞く機会となり、長崎に原爆が投下されてから74年経った今でも後遺症や社会的差別に苦しまれ、戦い続けておられる人たちが日本人だけでなく当時長崎で被ばくされた韓国の方もいることを知りました。  
2日目の分科会では佐世保基地と基地周辺の見学へ行きました。道中では米軍の通勤のために作られた高速道路や、基地の施設設備における費用は「思いやり予算」による日本政府の負担であるということを知りました。  
また米軍基地、自衛隊の軍艦や訓練施設、弾薬庫などがあるなか、一般市民の方が住まわられており日々不安と憤りのなかで生活されている現実を知りました。  
平和というものは当たり前にあるものではなく、ひとりひとりが平和を願って社会に対して働きかけないと実現していかないのであるということを実感しました。(社会福祉法人とんぼ分会)

**ヒバクシャ国際署名**

**53万 3345 筆(8月24日現在)**

**核兵器禁止条約調印国&批准国**

**70カ国、26カ国(2019年8/30現在)**

**8月29日、カザフスタン新たにが26カ国目の国として批准書を国連事務総長に寄託**

# 「核兵器禁止条約」一言もふれない被爆国首相の安倍晋三氏

## ～広島市長、長崎市長、広島県知事も重要視する発言の中～

昨年来、破綻した「橋渡し」を繰り返す被爆国日本の首相は、被爆者からも「何もしない」と糾弾され、朝日新聞「社説」に「首相には聞こえぬのか」と指摘。一方、NPT準備委員会議長サイード氏は「最終文」

4版 2019年(令和元年)8月3日(土)

### 「最終文書に核禁条約を」

再検討会議でNPT準備委員議長



今年4月、日本は核兵器禁止条約(NPT)再検討会議で「最終文書に核禁条約を」という言葉を初めて述べた。サイード氏は、再検討会議で「核兵器禁止条約」が「最終文書」に盛り込まれることを望んでいる。サイード氏は、再検討会議で「核兵器禁止条約」が「最終文書」に盛り込まれることを望んでいる。サイード氏は、再検討会議で「核兵器禁止条約」が「最終文書」に盛り込まれることを望んでいる。

# 社説 Editorials

### 被爆地の訴え 首相には聞こえぬのか

安倍首相は、核兵器禁止条約を求め、被爆地からの切実な声に応えぬのではないか。そう受け取られても仕方のないやりとりが、今年の夏もまた、広島・長崎の被爆者や自治体トップと首相との間で繰り返された。「被爆者が生きているうちに核兵器禁止条約を結ぶ」というのが、長崎市の武部、被爆者代表として平和への誓いを述べた山脇佳朗さん(85)はそう訴えた。独学で英語を学び、海外でも核兵器禁止条約を訴えてきた。首相はあいさつで、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を続けることが国の使命だ、と改めて強調した。しかし、被爆地では首相への「毅然とした態度」の要求として、核兵器の開発と保有、使用などを幅広く禁止する核兵器禁止条約への署名・批准を求

「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を続けることが国の使命だ、と改めて強調した。しかし、被爆地では首相への「毅然とした態度」の要求として、核兵器の開発と保有、使用などを幅広く禁止する核兵器禁止条約への署名・批准を求

書に核禁条約を明記する意思を示していることを「毎日新聞」の取材に答えています。被爆者の訴え、広島市長、長崎市長の「平和宣言」を真摯に受け止められない日本の首相の姿を公式の祈念式典の場で世界中に示すことになりました。隣国の外交、中東の外交、どれをとっても安倍外交の外交力の無能さをしめし

**原水爆禁止2019世界大会報告会開催中!**  
 8月30日いづみ野福祉会  
 『にげんをかえせ』DVDを上映しての報告集会“映像の力はすごいですね”の感想  
 9月5日此花診療所  
 続事務局長を招いての報告集会

## 「核兵器禁止条約」発効促進、2020年NPT再検討会議&原水爆禁止世界大会 in NYの成功を!



▲2005NPT再検討会議ニューヨーク行動



署名を国連に提出 (2010NPT)

「核兵器のない世界」の実現へ、これまでの合意の実行と核兵器禁止条約を最大の焦点として開催される2020年NPT再検討会議に際し、ニューヨークで開催される世界大会をはじめとする国際共同行動に参加する代表団を派遣します。これは、今年の原水爆禁止世界大会の「広島からのよびかけ」にこたえたものです。詳細な参加内容は、9月21日から開催される日本原水協第328回常任理事会で決定されますが、その概要が判明しましたので、ここに紹介いたします。各団体・地域ではとりくみの準備をお願いします。

**【基本方向】**

- ①4月23日、代表団はニューヨークに全員終結
- ②4月24、25日「世界大会 in ニューヨーク」
- ③4月27日、NPT再検討会議開会・・・24日から4日間を行動日

マンハッタンパレード、ヒバクシャ国際署名行動  
 [ニューヨーク基本コース (5泊7日) 関空発の予定]  
 期間：4月23日 (木) ニューヨーク到着～4月28日 (火) 現地出発、29日帰国  
 [ニューヨーク&各地訪問コース 成田発予定]  
 ①サンフランシスコ7泊9日コース (4月21日～4月28日) 45名  
 ②ワシントン7泊9日コース (4月23日～4月30日) 45名  
 ③ボストン (A) 7泊9日コース (4月23日～4月30日) 45名  
 ④ボストン (B) 8泊10日コース (4月23日～5月1日) 45名  
 ⑤トロント7泊9日コース (4月23日～4月30日) 45名  
 ⑥バッファロー7泊9日コース (4月23日～4月30日) 40名  
 ⑦シカゴ8泊10日コース (4月20日～4月28日) 45名

参加費：基本コース=31～33万円前後、各地訪問コース=38～43万円前後  
 (国際航空運賃、現地宿泊費、代表団共通経費、NY行動分担金、その他宣伝費等)  
 <燃料サーチャージ料は含まれず>  
 募集：9月下旬に代表団派遣要綱と参加申し込み書を配布予定  
 10月末に第1次募集締め切り (キャンセル料発生期限)  
 2020年2月末に参加申し込み最終締切 ※大阪原水協常任委員会で詳細決定  
 注意：成田発は大阪からの国内旅費別途必要になります

**国連「核兵器廃絶デー」(9月26日)**

府下一斉の署名・宣伝活動を！  
 世界大会が決定した秋のとりくみの第一弾として、9月26日(木)を「6・9行動」第2弾としてとりくみましょう！  
 <府的行動>  
 日時：9月26日 (木) 17:30～18:30  
 場所：難波・高島屋前  
 ※別途、要請文を各団体に発信します